

一般質問通告書

【第61回定例会】

多可町議会議長 河崎 一 様
多可町議会議員 廣畑 幸子



受 領 日	番号
平成 26 年 11 月 26 日 午前・ <u>午後</u> 3 時 30 分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1. もしもの時の備えに、救急医療情報キット（命のボタン）の普及拡大を 救急医療情報キット（命のボタン）の詳細をお聞きします。	町長
2. 福祉タクシー券の利用範囲は広がったのか	町長
丹波市へのアクセスは可能になったのか。	

質 問 の 内 容

1 点 目

救急医療情報キットは通称「命のバトン」と呼ばれています。

ひとり暮らしや家族のいない時に急病で倒れてしまった場合、救急車を呼ぶことができたとしても、その人がどんな持病、血液型また、どんな薬を飲んでいるか、緊急連絡先などの情報を、救急隊員に確実に伝えることができないかもしれません。このため、救急医療に係る情報を、迅速かつ確実に伝えるためのキットです。

配布されるものは、保管容器、救急医療情報シート、ステッカーなどです。

多可町では近隣に比べ、スタートは遅かったのですが、平成25年11月からこの制度を始めています。最初は65歳以上のひとり暮らしの方が対象でした、26年度からは、65歳以上の高齢者夫婦世帯まで対象者を拡大しています。ただ、始まってまだ1年ほどの制度です。設置されている件数も少なければ、対象者を含め、住民全般への周知もまだまだです。

そこでお聞きします。

- 1、民生委員さんが配布されていると聞いていますが、どの様にして、配布されているのでしょうか。
- 2、民生委員さんの中には、区によっては担当集落が複数の方もあり、なかなか苦勞されているとお聞きします。町として、今後どのように進めていくのでしょうか。
- 3、配布を希望するときは、どの様にすればよいのでしょうか。
- 4、普及の現状は。
- 5、まだまだ知られていないこの制度ですが、今後どのように知らせていくのでしょうか。
- 6、対象者を、昼間ひとり暮らし世帯などに広げていくべきではないでしょうか。
- 7、65歳までのご家庭でも、希望があれば配布すべきではありませんか。

2 点 目

今年の3月議会で福祉タクシー券についてお聞きしました。現行の24枚は財政面から見て仕方がないという事でしたが、私は今でも増やすべきと思っています。しかし今回は、福祉タクシー券の利用範囲についてお聞きします。

現在は、多可町内はもちろん、西脇市・加西市で多可町の福祉タクシー券が使えます。これは、提携している業者があるからですが、丹波市の業者との提

携はどうかっているのでしょうか。

清水坂トンネルが開通してから1年が経ちます。

清水坂トンネルの開通で時間も短くなり、行き来がしやすくなる、交流も増えると、町長もお話しされています。

それなら、必要な病院に行きやすくなるよう、制度を充実させる事が大事と考えます。

どのような動きをしているのでしょうか。

以上2点です。